

！ 特殊詐欺被害が増加しています。

「特殊詐欺」とは、「オレオレ詐欺」「預貯金詐欺」「架空料金請求詐欺」「融資保証金詐欺」「還付金詐欺」「キャッシュカード詐欺盗」などの10種類の手口を総称したもので、現金やキャッシュカードなどをだまし取る犯罪です



case1 区役所職員、警察官、銀行員を装って



区役所職員ですが、払いすぎた保険料、医療費を返金します

行政機関等が電話で
ATMの操作を指示することは
絶対にありません！



case2 キャッシュカードや暗証番号をだまし取る



銀行協会ですが、預金を守るのに手続きをするのでキャッシュカードと暗証番号が必要です

銀行協会の職員などが、
キャッシュカードを預かったり
暗証番号を聞いたりすることは
絶対にありません！



もし電話でお金の話があれば、詐欺の疑いあり・・・

大阪府下では「特殊詐欺被害」が増加！

1 大阪府下の状況

時期	件数	被害金額
令和5年1～9月	2,051	約27億2,604万円
令和4年1～12月	2,064	約31億8,614万円
令和3年1～12月	1,538	約24億1,440万円

令和5年1月～9月の被害件数において、還付金詐欺は1/3を占めており、件数688件、被害額約6億8,785万円の被害を認知しています。また、還付金詐欺については、1～9月の昨年比で件数58件、被害金額約▲7,273万円(件数1.09倍、金額0.99倍)となっています



2 港区の状況

時期	件数
令和5年1～9月	11
令和4年1～12月	12
令和3年1～12月	8

港区においては、令和5年1～9月の特殊詐欺件数は昨年より発生件数が増加傾向にあります。また予兆電話いわゆる「アポ電」の増加による被害が多いのですが、ここ最近ではインターネットを利用したサポート詐欺も増えています

3 防犯機能付電話機の紹介

オレオレ詐欺などの特殊詐欺を未然に防止するには、不審な電話に出ないことが一番です。悪徳商法やイタズラ電話も防止できます。特に、電話をかけてくる詐欺の犯人は、証拠が残る録音を嫌がります。全国防犯協会連合会が推進している防犯機能付電話機は次の通りです

●防犯機能付電話機

自動録音拒否や自動録音など、様々な機能が付いた電話機

●自動通話録音機

通話前に「通話内容を録音します」などと警告アナウンス
※区役所にて無償貸与しています
(大阪市内在住65歳以上の高齢者を含む世帯対象)

●自動着信拒否機

迷惑電話番号を自動で判別して、着信を拒否
※販売については家電量販店やインターネットでお調べください

ある特殊詐欺対策機器に関するアンケートによると、自動通話録音機設置により、約9割の方がオレオレ詐欺などの不審電話がなくなったと回答しています

特殊詐欺にあわない予防策

- 通話内容を録音したり、知らない番号や非通知の電話には出ないようにしましょう
- 在宅中でも留守番電話の活用や番号表示サービスを利用しましょう
- 家族や親族の間で、お互いを確認するための合い言葉を決めておきましょう

不審な電話があれば、すぐに
家族や警察に相談しましょう

問合せ 港警察署

☎ 6574-1234

港消防署より



- 寝たばこはしない
- ストーブをつけたまま寝ない
- 調理中など火気の使用時はその場を離れない
- 吸い殻は完全に消す
- 住宅用火災警報機を設置する

区民のみなさんが安心して新しい年を迎えられるように、港消防署、水上消防署は力を合わせて港区民のみなさんの安全を守ります！近年、火災による死者の多くは高齢者で、そのほとんどが住宅で発生しています。火災を発生させないために次の点に注意しましょう

大阪市消防局では、様々な情報発信のツールとして公式SNSを活用！



Facebook



Instagram



X(旧Twitter)



YouTube